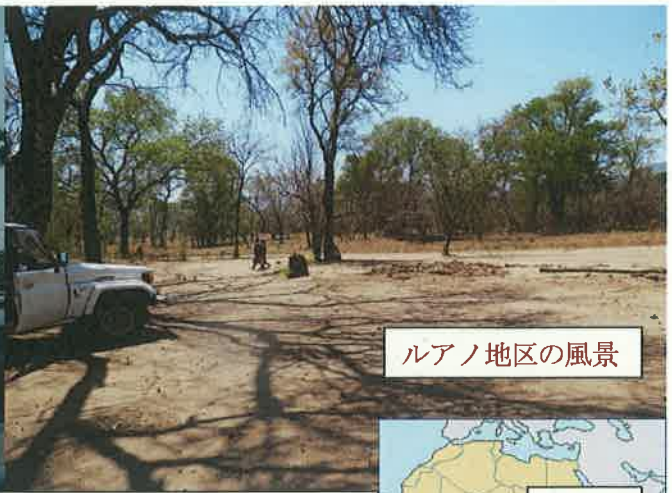




首都ルサカ市内



ルアノ地区の風景

# NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会 ニュース第23号 (H26.2.22)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄



はじめに 今年の2月は雪のニュースの多い月でしたね。宮崎市内は雪は降りませんが、県北、高千穂では20cm積雪がありました。大雪で被害のあった方には心からお見舞い申し上げます。

早速ですが、うれしいお知らせが2つあります。

一つは、以前山元先生のザンビアでの活動状況がテレビ放映されますとお伝えしていましたが、2月10日に放送がされ、大変大きな反響（感動した、こんな先生が頑張っているんだなど）があり、事務局にもたくさんの問い合わせ、そして現時点で40名ほどの方からご寄付をいただきました。感謝申し上げます次第です。

二つ目は、山元先生のザンビアでの活動が評価されて、大山健康財団から激励賞を受賞することの案内がありました。3月の20日が授賞式なのですが、山元先生からは「皆様のご支援のおかげです」とのお話がありました。またこのことが読売新聞の宮崎版で記事になりました。

今年も良いことがたくさんあると良いですね。



## 会の経過報告

活動二年目が終了し、昨年の活動報告、決算、監査報告、そして今年度の活動計画、予算案について審議する通常総会を2月15日(土)、宮崎市にて開催しました。

17日(月)には宮崎市地域コミュニティ課に出かけ、事業報告書を提出してきました。

総会では、認定NPO法人の申請についても承認していただきましたので、これから県の担当課に申請を行いたいと考えています。

## 25 事業年度の活動状況 まとめのご報告 (26 事業年度も含めて)

### 1 事業概要

- 巡回診療事業をチボンゴ郡ルアノ地区で月 2 回、カナカントパ地区で月 1 回 (5 月まで) 継続実施した。しかし、2-3 月は道路状況が悪く、ルアノ地区での巡回診療は一時的に中断し、薬剤などを提供した。また、新たにムワンタヤ地区で 5 月から月 1 回開始した。カナカントパ地区に対しては、看護師の常駐が開始されるまで (6 月から 9 月) 薬剤などの提供を実施した。  
\*ルアノ地区ではマラリア罹患率が確実に減少してきている。
- ルアノ地区で、住民が建設した建物に、セメント・屋根・窓・窓ガラス・グリルドアなどを提供し、患者ファイルを保管する倉庫として、また診察室、会議室として機能できる建物がほぼ完成した。
- 同 3 地区とニャンカンガ地区から 12 名を選び、コミュニティヘルスワーカー (CHW) 研修を実施し、前期 3 週間が終了した (なお後期 3 週間については 26 事業年度に実施予定)。
- 3 地区では地域住民に対して、マラリア予防と下痢予防に関する保健衛生啓発活動を実施した。
- コミュニティヘルスワーカー (CHW) やネイバーフッドヘルスコミッティ (NHC) のメンバーの活動を資金面でも支援するために、彼らの収入創出活動を実施した。
- 広報活動として、活動内容を伝えるニュースをメールで、計 14 回送信すると共に適宜ホームページの更新を実施した。



### 2 活動決算の概要

#### 1) 経常収益

会費、賛助会費(1 口~10 口)併せて 150 万円の会費収入と、24 の個人と団体から併せて 565 万円余り (内約 510 万円は山元先生個人からの寄付) があり、雑収入と併せて収益合計は 7,196,577 円でした。

#### 2) 経常費用

事業費として、ザンビアで常時雇用しているドライバーの給与や巡回診療の際に雇用しているスタッフ等の手当、薬代、研修や啓発活動等に要した費用として、5,221,759 円使用しました。

管理費として、ザンビア事務所の管理補助員の手当や山元副理事長の渡航旅費、昨年購入した車の原価償却費等の経費として、1,463,991 円使用しました。経常費用の合計は 6,685,750 円でした。

#### 3) 正味財産等

これらの結果、510,827 円の当期正味財産増となり、前期繰越正味財産額(固定資産の車が計上されています)とあわせ 4,033,023 円が次期繰越となりました。

### 3 26 事業年度の活動及び予算について

#### 1) 事業計画

本法人の活動目的を達成するため、巡回診療事業、地域住民への保健衛生啓発事業を継続します。

巡回診療では、ヘルスセンターが設置されたカナカントパ地区をやめて、新たにニャンカンガ地区での月 1 回を加え、ルアノ(月 2 回)、ムワンタヤ(月 1 回)の 3 地区で実施します。

コミュニティヘルスワーカー (CHW) 12 名の研修(後期 3 週間分)を行うとともに、地域住民に対する啓発活動 (マラリアや赤痢等の予防) を実施します。

